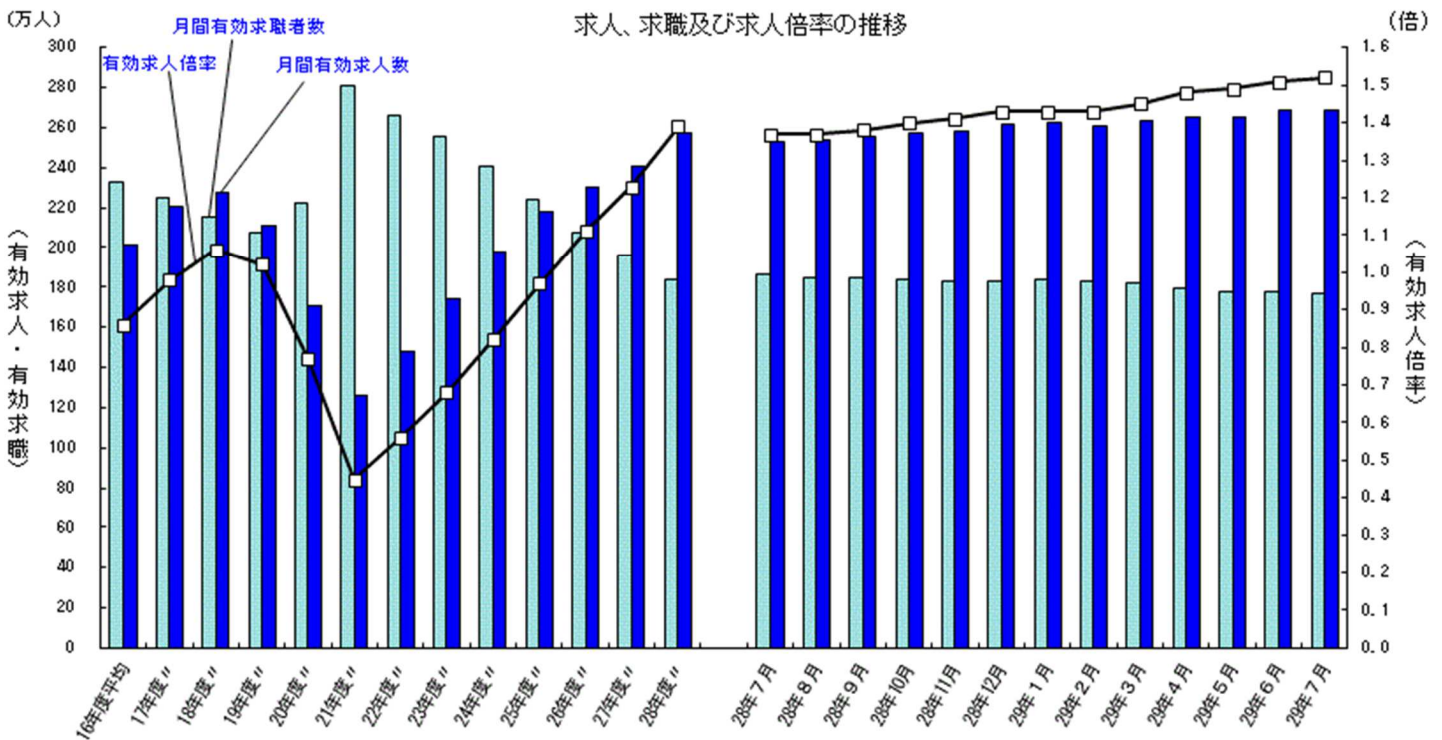




一般職業紹介状況からみる有効求人倍率について

厚生労働省では、公共職業安定所（ハローワーク）における求人、求職、就職の状況をとりとめ、求人倍率などの指標を作成し、一般職業紹介状況として毎月公表しています。今回のあおぞらレターでは、平成29年7月の一般職業紹介状況より、有効求人倍率等についてみてみます。

「一般職業紹介状況（平成29年7月分）」より データ出所：厚生労働省



- ◆平成29年7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.52倍でした。上昇は5ヶ月連続で、1年前から比較しても、概ね右肩上がりとなっており、1974年2月以来、43年5ヶ月ぶりの高水準を記録しています。
- ◆有効求人倍率は、平成26年から1倍を超え、人手不足の状況がますます広がっています。
- ◆新規求人数は、産業別にみると、製造業（10.5%増）や運輸業、郵便業（9.2%増）などで特に増加しています。

人材の確保は年々、正規、非正規を問わず難しくなっています。一方で、平成29年10月1日から見直しが図られた、労働時間等見直しガイドラインにもあるように、一人ひとりの労働時間が個別の事情に沿うように、という国からの要請もあります。

簡単に労働力の確保ができない今、企業に対しては、一人ひとりの働き方を見直すことで雇用の確保につなげていくという努力が求められているように思います。

● **ガイドライン** : <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyoku/0000179177.pdf>

その他の詳細やご不明な点は弊所担当までお問い合わせください。TEL. 03-3526-4277